

令和 7 年度
事 業 計 画 書

公益社団法人 全国競輪施行者協議会

事 業 方 針

令和6年度の車券売上高は、前年同期比1,176億円増と、12.07%の伸び（令和7年1月末時点）を示し、11年連続で前年度を上回り、引き続き堅調を維持している。

また、令和5年度に引き続き公営5競技の中でも競輪が最も高い伸び率を示している。これは既存の開催枠組みに加え、試行開催を行うなど常に新たなレースを提供し、お客様の要望に進取果敢に取り組んできた競輪業界の弛まぬ努力の成果である。

令和7年度は、5年間の終期を迎える中期基本方針の取り組みを振り返るとともに、新たな課題解決に向けた次期方針を策定し、更なる社会利益の還元を果たすため、以下の事項について重点的に取り組んでいく。

◆ よりレースを楽しめる競輪開催の実施

お客様の車券予想及びレース観戦（視聴）時間を確保することを目的として、全国全ての開催で発走時刻を調整し、同一の時間帯で複数の開催が行われる場合の同時刻発走等を解消する。

◆ 新たな競輪開催の実施

サマーナイトフェスティバルを3日制から4日制開催へ日数を増加し、女子オールスター競輪をGⅠ格付けの上、独立した開催として実施する。

また、新たに愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会協賛競輪、ワールドサイクリスト支援競輪を実施し、収益の一部を拠出する。

◆ 次期中期基本方針の策定

現行の中期基本方針に基づく取り組みを振り返り、競輪の持続的発展に資するため、新たに令和8年度からの5年間を対象期間とする次期中期基本方針を策定する。

◆ C T C改革の実施

競輪界の公式投票であるC T Cについて、既存の枠にとらわれない販売促進策を展開するなど「公式」としての信頼性や優位性等を強力にアピールし、引き続き、C T C認知度の向上と投票会員の確保、売上の更なる増加を図る。

◆ 戰略的な広報の実施

「競輪のスポーツ性」、「メジャー性」をアピールするCM等を22年ぶりに刷新した男子選手用ユニフォームとともに展開し、「KEIRIN」として世界で親しまれているスポーツであることを訴求し、競輪・自転車競技のブランディング向上を図る。

◆ 2028VIS構築プロジェクトの推進

2028VISの開催・投票管理、CTC会員投票管理等の個別機能システム群の開発について、施行者作業部会と連携し、仕様や基本設計等の確認・協議を行い、プロジェクトを推進する。